

# テクニカルの活用方法について理解

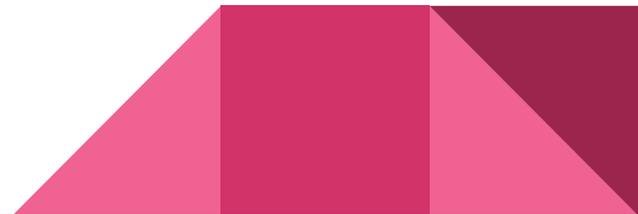
活用される基本テクニカルを利用する

# テクニカル分析の利用

テクニカル分析は基本を学ぶ事で基本通りにトレードしていくトレーダー達から利益を搾取する事ができます。

FXトレードはゼロサムの世界です。  
負けるトレーダーがいてこそ、勝トレーダーが存在します。

なので負けているポイントを把握する事が勝ちトレーダーへの第一歩につながります。



# <狙い打つトレーダー>

・ローソク足(陽線・陰線)

> 既にご買っている売っているトレーダー

・MA(移動平均線)

> 移動平均線タッチで買っている売っているトレーダー

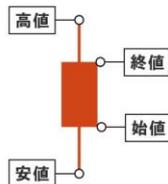


# ローソク足(陽線・陰線)

ローソク足の図解

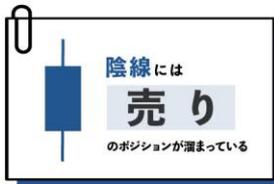
## 完全保存版 ローソク足認識

 陽線と陰線を定義づける重要な情報です



 ローソク足が形成される時間軸では、**始値** » **安値** » **高値** » **終値** という順で形成されます

 この四本値は絶対声に出して**叫んでください**



相場参加者の**8割は負けているポジション**  
故にローソク足の陽線陰線を見ながら  
**後だしじゃんけんて勝負!**



? 相場で何を待つのか?

**後だしじゃんけんできる  
ところまで待つ**

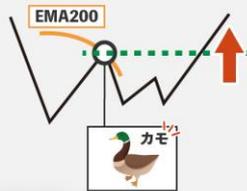
# MA(移動平均線)

完全保存版

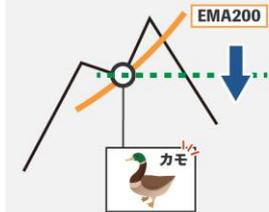
## EMA200ブレイクの思考

EMA200のタッチで  
「買う」または「売る」の行為は  
優位性が低くそこは正に  
初心者ポジションのたまり場

買い



売り



1時間足を中心に見ていくと  
実相場でワークしやすく  
ポジション保有時間も  
24時間程度に収まりやすい。

※EMA200を割れない相場はない

# MA(移動平均線)

EMA200(指数平滑移動平均線)は  
グランビルの法則などにも用いられるもっともポピュラーな移動平均線です。

このEMA200を背景に買いエントリー、売りエントリーを行っている  
トレーダーが一定数います。

セオリー的には間違いではありませんが、そこには優位性はありません。

## 【狙い所】

★EMA200にタッチして下がっている高値を上に抜けたポイント

└買い

★EMA200にタッチして上がっている安値を下に抜けたポイント

└売り

# <狙い打つトレーダー>

- ・BB(ボリンジャーバンド)

- > BB2シグマで逆張りしているトレーダー

- ・MACD(移動平均ダイバージェンス コンバージェンス)

- > ダイバージェンスやコンバージェンスを狙ってエントリーしたトレーダー

# BB(ボリンジャーバンド)



上記の画像のようにボリンジャーバンドで逆張りをしかけてくる  
トレーダーの損失を利益に変えていきます。

ボリンジャーバンドのトレードをしているポイントが  
いかにもテクニカル通りのポイントであればあるほど優勢性が増します。

- ・ローリバーサルの戻り目で売りを狙っている
- ・ローリバーサルの押し目で買いを狙っている

【狙い所】

★ボリンジャーバンド 2 シグマタッチ→陰線高値ブレイク狙い

└ 買い

★ボリンジャーバンド 2 シグマタッチ→陽線安値ブレイク狙い

└ 売り

# MACD

## (移動平均ダイバージェンス コンバージェンス)

オシレーター系テクニカル分析では  
ダイバージェンスとコンバージェンスを読み解く事ができます。  
総じてダイバージェンスという呼び名で呼ぶことも多いですが  
ここでは正式名称も含めてご理解ください。



ダイバージェンス

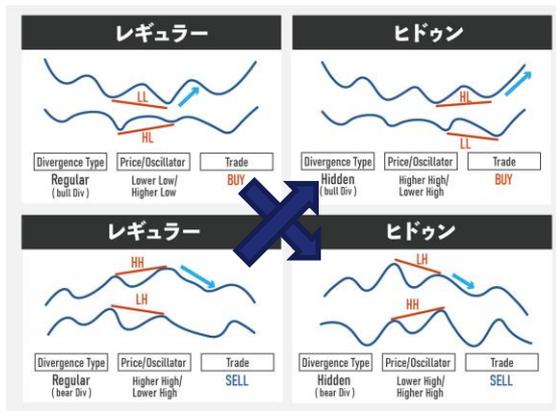


コンバージェンス

# MACD (移動平均ダイバージェンス コンバージェンス)



ダイバージェンスの特徴  
MACD やストキャスでオシレーターの動きの違和感を確認できる



オシレーター系テクニカル分析ではダイバージェンスとコンバージェンスを読み解く事ができます。総じてダイバージェンスという呼び名で呼ぶことも多いですがここでは正式名称も含めてご理解ください。

そしてダイバージェンス後にはヒドゥンダイバージェンスという事象が発生する事があります。

ダイバージェンス現象とヒドゥンダイバージェンス現象は相関関係にありどちらかの現象が解消された際は相対的なダイバージェンス現象が発生する事になります。

## 【狙い所】

- ★コンバージェンスで下落を予見した値動き後の上昇  
↳ 買い
- ★ダイバージェンスで上昇を予見した値動き後の下落  
↳ 売り

